

地震に強い水道管

城南小学校 五年 和須津 風花

「地震に強い水道管に交かんしています」

最近、私が母と近所のスーパーに買い物へ行く時、このように書かれた看板がありました。道路は車が通行止めになれ、作業をしている人たちとショベルカー、ダンプカーなどの工事車両がありました。道路のアスファルトがはがされ、土が掘られ深い穴ができていました。地震に強い水道管、てなんだろう」と

私は疑問に思いました。

今年の元旦に石川県の能登地方で大きな地震がありました。新聞やテレビのニュースで長い間水道などが使えず、給水車を利用したり避難所での生活をしていると報道されていきました。地震と水道の関係を調べてみると水道管は地面の中に埋められていて、地震による地面のゆれで接続している部分が外れたり、管が破損したりすることがありました。そして日本の水道普及率は約九十八パーセント

ですが、その水道管の多くは四十年以上た
ていて、管の交かんが必要になつています。
会津若松市は古い水道管から新しい水道管に
交かんするときに合わせて、地震に強い管に
交かんすることに取り組んでいるようです。
今回私が見た工事はこれだ、た、ということか
分かりました。そして私は昨年社会で「水は
どこから」という授業を受け、浄水場に見学
に行きました。その時まで私は猪苗代湖の水
をダムに送つてその水を浄水場できれいにし

て蛇口からでてくるのかな、というなとな
くのイメージしかできませんでした。見学に
行った滝沢浄水場は予想していた通り猪苗代
湖の水を利用していました。ダムにはためず、
取水口というところから浄水場に取り入れま
す。「セラミック膜ろ過装置」で小さな汚れ
を取り除き消毒して水道管を通して各家庭に
運ばれ、そして私たちが利用できるようにな
ります。

私は今、毎朝起きてから、顔を洗い、こ

飯を食べ、歯をみがき、トイレに行き、学校
に行き、帰ってきてから手洗いうがいをして
お風呂に入り、洗濯をしてと当たり前のように
何も考えずに水を使っています。世界には
約二百の国がありますが、日本と同じように
蛇口を開けると安全な水が出てくる国や地域
は十二か国のようです。地球上に住む人たち
のうち七十五パーセントの人が安全な水を使
えませんが、アフリカでは二十五パーセント以
下の国が多くあり、東南アジアや中南米でも

半分以下の国があります。

日本は地震大国でもあるので水が使えるこ
とを当たり前だと思わず、水を大切に使うエ
夫をしていく必要があるということ。浄水場
見学や今回の地震に強い水道管について調べ
てみて分かりました。そのため私ができる
ことはお風呂で体や髪を洗うときはシャワー
をこまめに止めて泡を洗い流す。夏に育てて
いるスイカやミニトマトには、父が雨水をた
めてくれているところからくんでジョウロで

あげる。週末に持ち帰る学校の上ばきはお風呂の残り湯を使って洗い、すすぐ時だけ水道の水を使う。今、思いつくことはこの三つです。すが、これからも自分ができることを見つけて水道の水を大切に使うていきたいです。